

学校評価アンケートの考察と2学期に取り組むこと

	NO	質 問 項 目					わからない	
			あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない		
問題を解決していく授業	①	積極的に授業に取り組んでいましたか。	教員	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	
			児童	49.6%	48.9%	1.5%	0.0%	
			保護者	35.0%	54.7%	6.6%	0.0%	3.6%
	②	自分の考えを分かりやすく話していましたか。	教員	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	
			児童	24.8%	48.9%	23.4%	2.9%	
			保護者	17.5%	56.2%	19.7%	0.7%	5.8%
	③	自分の考え（予想や気付いたことなど）をもっていましたか。	教員	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
			児童	50.4%	39.4%	9.5%	0.7%	
			保護者	26.3%	51.1%	10.2%	0.7%	11.7%
	④	先生や友達の話をしっかり聞き取ろうとしていましたか。	教員	10.0%	70.0%	20.0%	0.0%	
			児童	62.8%	31.4%	5.1%	0.0%	
			保護者	40.9%	47.4%	7.3%	0.0%	4.4%
	⑤	自主的に家庭学習をしていますか。	教員	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	
			児童	31.4%	35.0%	27.0%	6.6%	
			保護者	35.0%	35.0%	26.3%	3.6%	0.0%
安心して生活できる学級	⑥	時と場に応じて、先にあいさつをしていますか。	教員	0.0%	72.7%	27.3%	0.0%	
			児童	54.7%	40.1%	4.4%	0.7%	
			保護者	27.7%	54.7%	16.1%	0.0%	1.5%
	⑦	やさしい言葉づかいで話していますか。	教員	0.0%	90.9%	9.1%	0.0%	
			児童	43.8%	45.3%	10.2%	0.7%	
			保護者	29.2%	49.6%	19.0%	0.7%	1.5%
	⑧	家庭で、友達やクラスのいいところを話していますか。	教員	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	
			児童	52.9%	32.4%	13.2%	1.5%	
			保護者	36.5%	44.5%	18.2%	0.7%	0.0%
自己肯定感を高める活動	⑨	学習や生活について目標を持ち、粘り強く努力していますか。	教員	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	
			児童	43.1%	46.0%	9.5%	1.5%	
			保護者	20.4%	51.8%	25.5%	1.5%	0.7%
	⑩	4月からこれまで、成長が感じられましたか。	教員	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	
			児童	56.6%	30.9%	8.8%	3.7%	
			保護者	46.0%	42.3%	10.9%	0.7%	0.0%
	⑪	毎日元気に登校していますか。	児童	65.7%	24.8%	8.0%	1.5%	
			保護者	70.1%	21.2%	7.3%	1.5%	0.0%

1学期はさまざまな制約が加わり、これまでと同じ教育活動を実践することが難しい状態でした。児童が楽しみにし、また成長が期待できる行事が少なく、昨年度末に未履修だった内容を学習することからスタートし、教室での学習が多くなりました。授業においては、ペアやグループでの話し合い活動がほとんどできませんでしたが、学級担任の工夫により概ねよい評価を得られたと思います。2学期にむけてさらに、充実感が得られるよう以下の点に留意して取り組んでいきます。

<問題を解決していく授業>

- ・密になる状態を防ぐために、一斉指導になることが多かったが、徐々に活動する形態を変えながら、発表する機会や互いに聞き合う機会を増やして活発な授業にしていきたい。また、友達や先生の話を書くときは、1回で聞き取ることができるように集中した雰囲気を作るようにしていきたい。
- ・家庭学習について、特に教員の評価が児童・保護者より低かった。学年が上がるにつれて、取り組む内容（程度・文字の丁寧さ）の向上を求めていく。自主学习ノートを活用している学年（3～6年）は、時間を記入することにより、家庭学習時間（学年×10分+10分）を意識しながら、学習したことの内容を定着させていきたい。

<安心して生活できる学級>

- ・あいさつについて高評価とはいえなかった。「あかるく」「いつでも」「さきに」「つけて」ということを呼びかけている。朝のあいさつボランティア活動を再開しあいさつの木への掲示などを行い、あいさつに対する意識を高めていきたい。
- ・言葉づかいの乱れは、いじめ問題につながることもある。教育相談等を通して、日ごろの悩みを把握するとともに、道徳や学級の時間を利用して互いを尊重し、安心して生活できる学級づくりを行っていきたい。  
合言葉は「やさしい言葉 いつでも・どこでも・だれにでも」

<自己肯定感を高める活動>

- ・今年度は、あらゆる活動での振り返りを行いたいと考えている。学習では、「こんなことが分かった」「友達の考えが参考になったので、次はそのやり方でやってみよう」という振り返りを、1時間の授業または、単元のまとめで行っていききたい。活動においても、「目標を設定する」「実行する」「途中で活動を確認する」「振り返りを行う」のサイクルで活動を繰り返すことで、自分の変容（成長）に気付かせていく。学習面はもちろん、行事や諸活動を通して子ども達は成就感を感じながら成長していくので、活躍した場面や成長の場面をのがさず認め、自己肯定感を高めていけるようにしたい。
- ・粘り強く努力するという点では、運動だけでなく学習や普段の生活においても取り組むことができる。その中で、運動については7月から朝マラソンが始まったので、生活のリズムを整えながら、週2回自分のめあてをもたせて頑張らせたい。